



奄美温泉大和 ハナハナビーチリゾート
温泉湧出報告会



11月5日に大和の石川で行われた奄美温泉の湧出式

やまとそん
議会だより

第 80 号

令和 3 年 12 月発行

議会：議会広報委員会

発行：大和村議会

電話 0997-57-2216（直通）

FAX 0997-57-2967

一般質問（4人）	P2～6
令和2年度決算認定について	P7
令和2年度決算審査委員長報告	P8～10
提出議案の主な内容	P11～13
議会の動き・編集後記	P14



4 議員からの一般質問

村政を問う !!

9月定例会では、4名の議員が村政全般にわたる施策の状況や方針などについて、村当局に問い質（ただ）しました。質問と答弁を要約した内容は、3ページから6ページです。

動画サイト「^{ユーチューブ}YouTube」で議会を配信しています！

大和村ホームページからもご覧いただけます



村議会動画配信



QRコード

令和3年第3回 大和村議会定例会一般質問

9/22 ① 1:04 ~ 53:55 市田 実孝 議員

- 1 農林水産物の地産地消について
- 2 再生エネルギーの地産地消について
- 3 公有財産の利用について

9/22 ① 54:21 ~ 1:45:53 前田 清和 議員

- 1 大棚毛陣地区、観光施設整備について
- 2 空き家、廃屋対策について
- 3 コロナ感染症対策について



9/22 ② 0:28 ~ 1:00:38 勝山 浩平 議員

- 1 住宅が不足している集落への住宅整備の推進を
- 2 奄美漁業大和支所の正組合員過半数が反対している国立公園ヒエン浜沖での海砂採取の中止について
- 3 交付金を支給している「やまとまほろば漁業集落」の活動で現認された事件の隠ぺい疑惑の解明について
- 4 村の歴史・文化・伝統芸能等を伝承していくために歴史民俗資料館の整備に向けた取り組みについて

9/22 ② 1:01:09 ~ 1:37:50 藏 正 議員

- 1 住宅整備について
- 2 福元地区の携帯電話エリア拡大について
- 3 クロウサギ飼育展示施設について



市田 実孝 議員

農林水産物の 地産地消について

問 地域の活性化のために、農林水産物の地産地消は必要かとだと考えるが、村として何らかの対策をしているのか

答 6月の食育月間に合わせてすももフェスタの開催、年末ひらとみ朝市、まほろば大和ウォーキング大会、福祉まつりなどのイベントを活用し地産地消を推進している。

問 学校給食等で特産品の活用や収穫体験等しているのか現状はどうか



答 まほろば館や農家から野菜や果実、特産品の加工品を調達し給食等で提供している。サトウキビの栽培やタンカンの収穫体験など実施し郷土の食材に親しむ教育を行っている。

問 家庭菜園や一坪農園を推進していく事業など検討できないか

答 家庭菜園や一坪農園への支援はしていないが新たに市民農園を整備。村民に募集を行い、楽しみふれあう農業を推進し、学校農園として活用して地産地消に努めていく。

公有財産の 利用について

問 村有地（遊休地）の貸付について、規定等があるのか

答 大和村公有財産管理規則の中で、公有財産の分類別に取得・処分・管理・使用許可に対する手続きなどの規定がありそれに基づいて業務を行っている。

再生エネルギーの 地産地消について

問 政府は公共施設への太陽光パネル設置等に対し、自治体を支援していくとある。村の計画などないか

答 平成31年に大和村地球温暖化防止実行計画を策定し、電気の削減など役場事業所として二酸化炭素排出削減に取り組んでいる、また、本庁舎や各出先機関における太陽光発電は費用効果など考慮し国の補助事業等の導入も視野に入れながら検討していく。

問 大和ダムの利用状況で、小規模発電などの活用について

答 管理者が県であり、村に水利権がなく県に確認したところ小水力発電の導入には至っていない。今後、県と協議をしたい。

問 旧戸円校の校庭や今里西部グラウンドの状況・今後の利用計画は。また、公有財産の貸付等について

答 現在、具体的には決まっていないが障害者の行き場づくり事業で校舎等利用しており、農福連携による活動の拡大を検討している。今後村内の情勢に合わせて有効な利用を集落の意見を聞いた上で村の振興に役立つよう計画を立てていく。



自然エネルギー施設



前田 清和 議員

大棚毛陣地区の観光施設整備について

問 大和まほろば館を中心とした複合的整備が出来ないか

答 現在、アマミノクロウサギ研究飼育施設において、総事業費約6億円を見込んでいる。

毛陣地区観光拠点施設整備においても、応分の建設事業費の負担が予想される中、財政的な面から二つの大型公共事業を同時に進行することは困難である。



空き家、廃屋対策について

問 現在どのような取組をしているのか

答 防犯や台風時に不安であるとの声は聞く。村としては、各集落において家屋の所有者に連絡をしてもらい、解体撤去を依頼していただくものと認識している。



台風大丈夫かい？

問 空き家等除去助成金など検討できないか

答 空き家・廃屋の所有者から同意を受けて取り壊しを行う集落を対象に、助成事業を実施できるよう予算化した。助成について課題が出ており十分な検討が必要であると考えている。

コロナ感染症対策について

問 10代未満の感染者が発生した場合の教育現場、学校の対策は

答 国・県の指針に基づき対策マニュアルを設定している。
学校で感染者発生の場合、臨時休業とし目安は5〜7日間。その間必要な箇所の消毒などを行い、感染拡大防止策を講じて学校再開とする。



問 PCR検査は無料で検査しているが、診察代はどのようになっているのか

答 保健所からの検査依頼や医師が必要と判断した場合の医療費用助成は上限4千円。
受診時に窓口で支払いをするが助成により実質ほとんどの方が自己負担はない。本人希望の場合は、検査代含め全額自己負担である。



勝山 浩平 議員

**漁業者過半数が反対。
国立公園ヒエン浜沖で
の海砂採取中止へ！**

問 県に採取による環境の因果関係や新たに採取可能な海域の調査を要望しているが結果はどうか？今後の取り組みは？

答 令和6年度に調査実施予定賦存量（残っている砂の量）

調査は採取業者が行うべきで採取業者に要望する。最善策は採取地の分散化で今後は県、採取業者に要望を行う。

問 奄美漁協への今後の要請は？

答 採取量の削減と採取地の分散化の要望を行う。

問 漁業者の賛成・反対の意見を聞き村として意見書にまとめたいと答弁にあるが、どのような意見があり、意見書に盛り込んだ内容は？

答 （産業振興課長）意見聴取は実施していないが今後、意見聴取の場を設けることを約束する。県に提出した副申書に採取地の分散化や奄美漁協との十分な協議、採取海域の地形調査や環境への影響調査などの要望を盛り込んだ。

**漁業集落の活動で現
認された事件の隠蔽
疑惑の解明を！**

問 奄美漁協と漁業集落、役場が納得するような結果になるよう努めると答弁にあるが、どのような取り組みを行ったのか？

答 （産業振興課長）話し合いの場を段取りしていない。役場が立会人として場の段取りを約束したい。

**住宅不足の集落へ
住宅整備の推進を**

問 民間企業と連携した住宅確保の構想と進捗状況は？

答 民間賃貸住宅を誘致する。住宅を整備し管理運営してもらえるのか情報収集と条件等の精査を行っている。大和浜と大棚の埋立地が候補に上がっているが用地が確保される所を優先したい。

問 住宅整備計画の内容は？

答 総務課を主に建設課や保健福祉課、企画観光課などで村全体の住居確保について協議している。重要な課題。土地が確保できる場所に優先的に整備したい。民間企業等のアパート建設も考える。

問 どの集落に整備をするのか

答 令和3年度は大棚に1棟2戸、大和浜に1棟1戸を計画。令和4年度は名音に1棟1戸を計画。

**歴史・文化等の伝承
へ歴史民俗資料館の
整備を！**

問 奄美群島成長戦略に歴史民俗資料館の建設計画があるが今後の展開は？

答 費用などを考慮すると新たな施設建設は慎重な判断が必要。

問 次の奄美群島成長戦略にて歴史民俗資料館建設の位置付けは

答 専門的人材の配置、施設のあり方など検討し歴史民俗伝承施設の位置付けを判断したい。

問 早期建設へ向け準備を進める組織が必要では？

答 専門的人材を考えていく必要がある。体制づくりが滞っている。どのような形で進めていくかを早めに検討したい。



民間の力も借りて住宅を建てよう

問 住宅整備について、個人及び法人が建設する賃貸住宅に対し支援できないか

答 民間事業者や個人の方の住宅建設支援については検討を進めているところである。

民間の力も借りて
住宅を建てましょう



蔵 正 議員

飼育施設の運営計画案

飼育展示施設	3万5千人
入場料	700円
入場料計	2,450万円
お土産品等売上	3万5千人×1千円 = 3,500万円
販売利益	3,500万円×20% = 700万円
収入合計	2,450万円+700万円 = 3,150万円

答 年間の運営費用は、2千700万円を想定して健全な運営について検討中。

問 将来の運営費用の収支についての考えは

クロウサギ飼育展示施設（仮称）について、令和2年度に基本計画を策定し、現在、建物本体の建築設計並びに内部の展示設備設計中。

クロウサギ施設
運営は大丈夫なの？



クロウサギ見るだけではリピーターはつかないぞ !!

答 国内の野生生物保護関連の11施設及び島内の自然保護団体、農業及び観光業関係者11団体17名からヒヤリングを実施し賛同の意見を得ている。

問 村民から不安視されていないか

答 研究者、大学教授、環境省、獣医師、動物園、文化財担当者、事業担当課。
展示設計は業者に企画提案をしてもらい、村の関係各課長並びに環境省、まるごと体験協議会、フォレスト指定管理者の中から9名で審査し、それぞれの意見を反映した中で整備を進めている。

問 検討委員会の構成員は

問 福元地区の携帯電話エリア拡大について

答 大手3社に要望する。

その他の質問



奄美海洋展示館
(年間3万3千人)



マングローブパーク
(年間3万2千人)

去 年 度 使 わ れ た お 金 の 審 査 が 行 わ れ ま し た ！

令和 2 年度決算を認定

令和 2 年度一般会計及び特別会計決算の認定について、9 月 27 日、28 日の 2 日間にわたり決算審査特別委員会を開き審議。最終本会議で決算審査委員長報告（8 ～ 10 面に記載）を行い、採決の結果、8 会計の全てが認定されました。各会計の決算状況は次のとおりです。

令和 2 年度の各会計決算

会 計 名		歳 入 総 額 A	歳 出 総 額 B	差 引 額 (A - B)
一 般 会 計		4 0 億 3 3 5 2 万 8 千 円	3 8 億 7 6 7 2 万 6 千 円	1 億 5 6 8 0 万 2 千 円
特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業	7 5 0 3 万 3 千 円	7 1 3 9 万 6 千 円	3 6 3 万 7 千 円
	国 民 健 康 保 険	2 億 2 0 8 7 万 4 千 円	2 億 1 9 3 5 万 5 千 円	1 5 1 万 9 千 円
	大 和 診 療 所	9 3 0 4 万 1 千 円	8 4 1 2 万 2 千 円	8 9 1 万 9 千 円
	介 護 保 険	2 億 7 5 6 1 万 6 千 円	2 億 7 0 6 7 万 7 千 円	4 9 3 万 9 千 円
	集 落 排 水 事 業	3 億 5 3 6 1 万 8 千 円	3 億 4 8 4 7 万 1 千 円	5 1 4 万 7 千 円
	大 和 の 園	2 億 4 8 1 万 1 千 円	2 億 2 0 6 万 9 千 円	2 7 4 万 2 千 円
	後 期 高 齢 者 医 療	3 2 3 7 万 2 千 円	3 0 6 7 万 2 千 円	1 7 0 万 円
合 計		5 2 億 8, 8 8 9 万 3 千 円	5 1 億 3 4 8 万 8 千 円	1 億 8, 5 4 0 万 5 千 円

過去 5 年間の滞納（未納） 額推移

（単位：円）

種別 年度	村民税	固定資産税	住宅使用料	国民健康保険税	その他 (水道料・介護 保険料等)	滞納額合計
28	7 1 万	9 5 万	1, 0 9 5 万	5 6 1 万	2 0 1 万	2, 0 3 3 万
29	4 2 万	6 1 万	1, 0 4 5 万	4 5 7 万	2 0 4 万	1, 8 0 9 万
30	2 0 万	5 9 万	1, 0 7 8 万	4 4 7 万	2 2 9 万	1, 8 3 3 万
元年	1 6 万	6 1 万	1, 1 2 6 万	3 0 1 万	1 8 0 万	1, 6 8 4 万
2	1 4 万	7 4 万	1, 0 0 5 万	3 3 8 万	1 3 9 万	1, 5 7 0 万
前年度の比較	△ 2 万	1 3 万	△ 1 2 1 万	3 7 万	△ 4 1 万	△ 1 1 4 万

元年度と 2 年度を比較すると増減はあるが、全体として 1 1 4 万円の減額となった。税負担等の公平性を確保するために法に則って適正な徴収に努めていただきたい。

令和2年度

決算審査委員長報告

決算審査特別委員長

前田 清和



決算審査特別委員会に付託を受けました認定第1号、令和2年度大和村一般会計歳入歳出決算認定及び認定第2号から認定第8号までの令和2年度各特別会計歳入歳出決算認定の審査を3日間の日程で行いました。

9月21日の事業箇所の現地調査から始まり、9月27日及び28日の審査においては、初めての試みとして議場にて審査を行いました。

職員の的確な答弁により充実した決算審査が行われました。今後時間配分等を検証し改善



議場で初めて開催された委員会

していききたいと思います。

提出された決算書や主要施策成果表及び監査委員の意見書などを基に詳細に審査を行い、本委員会に付託された8件の決算をいずれも認定すべきものと決定いたしました。審査の過程で主な内容を報告いたします。

問 防災無線について

風向きによって聞こえないとか、ボリュームが小さいとか聞くがどのような対応をされたのか質疑があり、来年度から3年計画で各集落の機器の更新を行うとの答弁でした。

問 交付税・地方債について

普通交付税は国の算定計算式があるが毎年度増減が見られる。

今後もこのような状況が続くのではないかと、地方債については庁舎改修による増額、基金については基本的に取り崩さない努力をしたとの答弁がありました。



テスト！テスト！聞こえますか～

問 歴史民俗資料館について

文化財保護審議会で歴史民俗資料館建設の必要性について話が出るが、今すぐという話ではないとの答弁でした。

問 高倉補修について

高倉補修や材料育成状況について質疑があり、1棟の補修を行う。リュウキュウチクの育成については2カ所で行っており、雑草の除去など適正な管理を行っているとの答弁でした。



宮古崎：リュウキュウチクの育成場

問 住宅改修助成について

実績、条件、集落での取組は出来ないかと質疑があり、26件の申請があった。対象は、村内居住者、村外であれば必ず転入することが前提であり、個人の方を対象としている。また、集落での確保については十分検討したいとの答弁でした。

問 ネット塾について

利用者の数、増減の理由について質疑があり、昨年度14名、今年度6名が利用しているとの報告があり、減少の理由として保護者や子供の考え、また、コロナ禍で講師が直接説明できなかった事も要因と思われるとの答弁でした。



ネット塾の授業風景

問 集落長屋構想について

昨年度までに方向性を見出し、今年度は運営面や財政等について具体的に計画を立て、令和5年度から実施したいとの答弁でした。

問 障害者等行き場づくり事業について

成果表に実績を数字にして公表して欲しいとの質疑があり、活動内容は掲載しているが、売上げ等の金額は載せていない。事業内容の見直しを含め対処したいとの答弁でした。



クマタケラン作業に精を出す利用者

問 林道等の側溝管理について

定期的な調査は行っているが予算的なことで対応できていない部分もあるので、優先順位を決め側溝内の土砂の撤去を行いたいとの答弁でした。

問 ブルートーリズムの推進について

2年度の実績について質疑があり、いしょむん海(かい)やTAMASU(タマス)と協力して、トビウオ漁を活用して観光ツアーを計画していたが実施されなかったとの答弁でした。水産加工施設の活用については、51回の利用があり多くをTAMASUといしょむん海が利用したとの答弁がありました。

問 マイナンバーカードについて

集落での手続きは大変ありがたかった。交付に関しても職員が出向いて対応して欲しいとの質疑があり、今のところ問い合わせがあった分については直接訪問したが、遠方の方に対し今後検討したいとの答弁でした。

問 ねこ対策協議会負担金について

令和元年度以降5市町村が委託を行い集落内の野良猫を捕獲し、TNR事業を実施しているとの答弁でした。



捕獲された野良猫

問 診療所の運営について

5年連続で一般会計からの繰入金がなく健全な財政運営が行われていることは、大変喜ばしいことであります。

大和診療所歯科利用について質疑があり、医師とは1年ごとに契約を結んでいる。人口減少により患者数も若干減っているが今後は大きく減少する見通しではないとの答弁でした。

問 大和の園職員の配置について

職員の定数不足はないかとの質疑があり、職種ごとに人員の不足は生じていないとの答弁でした。

問 水源地の管理について

水源地や取り付け道路の管理については、ひらとみに委託し草刈りなどを行っているとの答弁でした。

問 デイサービスについて

土曜日に要支援者を限定としたデイサービスを開所できないかと質疑があり、社会福祉協議会と協議を行い対応したいとの答弁でした。



利用者が増えているデイサービス

最後に、当委員会では、委員長の報告と併せて、議会の意見を取りまとめたいですので、意見として取り上げていただくよう申し上げ、令和2年度決算審査特別委員会の委員長報告を終わります。



改良事業で整備が進む大棚名音線



大和浜地区：村民農園の予定地



津名久：老朽化に伴い改修された公園



湯湾岳遊歩道：
手すり改修と滑り止め木材が設置された

第3回定例会 主な内容

一般会計補正予算第2号

地方創生臨時交付金事業

新型コロナウイルス対策のため、960万円が予算計上されました。事業の内容は次のとおりです。

◇誘客促進補助金

250 万円

(事業の目的)

村内の観光関連事業者の活性化のため、島内観光需要喚起キャンペーンに取り組むことを目的とする。

(例：島っちゅ割キャンペーン等)

◇島外就学支援金

150 万円

(事業の目的)

島外の高校・専門学校・大学等に進学している学生に対し、一人5万円の支援することを目的とする。

◇集落運営支援事業

310 万円

(事業の目的)

豊年祭や集落行事が中止となり、寄付金収入が無い中で集落運営が困難となる事から集落運営の助成を目的とする。

◇商工等事業者事業継続支援金

250 万円

(事業の目的)

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている宿泊事業者・観光事業者・飲食事業者を支援することを目的とする。

※ 上記の支援金・補助金に関するお問い合わせ先

企画観光課 57-2117 (直通)

◇誘客促進補助金 ◇集落運営支援事業 ◇商工等事業者事業継続支援金

教育委員会事務局 57-2154 (直通)

◇島外就学支援金

新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願うとともに村民の皆様のご安全を心よりお祈り申し上げます。

令和3年第3回定例会あらまし

第3回定例会は9月17日から10月1日までの日程で開かれ、令和3年度一般会計及び特別会計の補正予算をはじめ、条例改正及び令和2年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定などが上程されました。

主な内容は次のとおりです。令和3年度大和村一般会計補正予算（第2号）2億6,136万円増額、予算総額31億7,516万2千円のほか7つの特別会計の補正予算を可決しました。また、大和村手数料条例の一部を改正する条例の議案を可決、委員会へ付託された令和2年度一般会計及び特別会計の決算については、審査の結果、すべて認定されました。

第3回定例会

議案等番号	件名
議案第36号	令和3年度大和村一般会計補正予算（第2号）について
議案第37号	令和3年度大和村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第38号	令和3年度大和村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第39号	令和3年度大和村大和診療所特別会計補正予算（第2号）について
議案第40号	令和3年度大和村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第41号	令和3年度大和村集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第42号	令和3年度大和村大和の園特別会計補正予算（第2号）について
議案第43号	令和3年度大和村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
認定第1号	令和2年度大和村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	令和2年度大和村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	令和2年度大和村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	令和2年度大和村大和診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第5号	令和2年度大和村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第6号	令和2年度大和村集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第7号	令和2年度大和村大和の園特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第8号	令和2年度大和村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第44号	奄美・沖縄世界自然遺産の日に関する条例の制定について
議案第45号	大和村手数料条例の一部を改正する条例の制定について
諮問第1号	大和村人権擁護委員の候補者の推薦について
発議第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

追加議案

議案等番号	件 名
議案第 46 号	大和村過疎地域持続的発展計画の策定について
議案第 47 号	大和村過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について



傍聴を希望される方へ

コロナウイルス感染症対策のため、入場の際は検温と手指の消毒のうえ、マスクを着用していただきますようお願いします。



○本会議は一般に公開されており、自由に傍聴することができます。ぜひお気軽にお越しください。（インターネットで生中継や録画配信でご覧いただくことができます。）

○議会の定例会は年 4 回（3 月、6 月、9 月、12 月）行われます。

○「大和村議会会議録」を各集落公民館に設置しています。どうぞご覧ください。



皆さんのご意見をお聞かせください。

年 4 回発行される議会だよりについては、分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますが皆さんからのご意見をお聞かせください。

また、議会に対するご意見やご要望がございましたらお聞かせください。



【お問い合わせ先】 議会事務局 電話：0997-57-2216（直通）

FAX：0997-57-2967 メール：gikai@vill.yamato.lg.jp

議会の動き

編集委員会



委員長 蔵正
委員 重信安男
市田前田 清和 実孝

【9月】

6日 議会運営委員会（議員控室）
17日～10月1日
第3回大和村議会定例会

【10月】

21日 広報委員研修会（鹿児島市）
23日 世界自然遺産登録記念式典（奄美市…議長）
24日 知事とのふれあい対話（防災センター）

【11月】

5日 一部事務組合議会（奄美市）
6日 奄美温泉湧出報告会
11日 各種協議会（奄美市…議長）
20日 自衛隊との合同訓練
24日 南部議会役員会（奄美市…正副議長）
25日 議会運営委員会（議員控室）

編集後記

村民の皆様方から「議会の傍聴になかなか行けないけど議会だよりは見てますよ。」とお声かけをいただくことで、議会だよりの重要性を再認識することも多くあります。

一方で、「議会だよりでは、詳しい経緯まではわからないよね。」というご意見もいただくことも事実です。

議会広報の役割というのは、議会でどういう議論を経て結論に至ったのか、その経緯を分かりやすく、広く村民の皆様方に報告することだと自覚しております。

議会だよりで、議会の審議内容を詳細にお伝えするのは、限られた紙面では充分ではないかもしれません。

現在、議会だよりのほか、本会議のインターネット配信など進めております。

さらに分かりやすい議会だよりを日々研究し、改善を積み重ねてまいりたいと思います。今後とも、ご愛読のほどを宜しくお願いいたします。

前田 清和



温泉源泉名：『ニュチグワホの湯』

※『ニュチグワホ』とは大和村の方言で「命果報（いのちかほう）」のこと「健康、長寿、子孫の繁栄」という縁起の良い意味があります。